

## 第6課 災害〈話してみよう〉

- キム : 昨日の夕方、揺れましたよね。ラビンさんは、どこにいましたか。
- ラビン: エレベーターに乗ろうと思って、待っていたときでした。とても怖かったです。
- キム : 本当にね。そう言えば、何年か前にネパールで大きな地震がありましたよね。
- ラビン: ええ、そうです。あのときのことを思い出しました。最初の地震の後も余震が続いていて、家が崩れそうだったので、外に出たんです。外は雨がしとしと降っていましたが、妻と二人で子どもたちを抱いて、一晩中外に立っていました。
- キム : 大変な目に遭いましたね。辛かったですでしょう。
- ラビン: ええ、もうだめかと思いました。もし、あんな地震が日本で起きた場合、どうしたらいいんでしょうか。日本語ができないし、とても心配です。
- キム : 外国人のためにいろいろな言葉で生活情報を伝えているセンターがあります。災害が起きたときの避難場所やそのほかの情報を教えてくださいませよ。
- ラビン: そうですか、調べてみます。
- キム : 私は、水や非常食を買って、置いています。避難用のかばんもあります。
- ラビン: そうですね。さっと持ち出せるように、必要な物を詰めておくといいですね。
- キム : それから、地震が起きたときにどうするか、家族で話し合っておいたほうがいいですよ。
- ラビン: なるほど、そうしておけば安心ですね。

## 第6課 災害〈読んでみよう〉

キムさんとラビンさんは、昨日の夕方、地震があったときのことを話しています。そのとき、ラビンさんはちょうどエレベーターを待っていました。ラビンさんはとても怖かったと言っています。そして、何年か前にネパールで起きた、大きい地震のことを思い出しました。ラビンさんは、余震で家が崩れるのが怖くて、家の外に出ました。外は雨が降っていましたが、それでも、妻と二人で子どもたちを抱いて、一晩中外に立っていたそうです。

ラビンさんは、もし、ネパールで起きたような地震が日本で起きた場合、どうしたらいいかと心配しています。キムさんは、外国人のためにいろいろな言葉で生活情報を伝えているセンターがあること、災害が起きたときの避難場所などの情報を教えてくれることを伝えました。キムさんは、水や非常食を買って置いておいたり、避難用のカバンを準備したりしているそうで、ラビンさんにも勧めました。それで、ラビンさんは、必要な物をかばんに詰めておこうと思いました。それから、キムさんは、地震が起きたときにどうするか、家族で話し合っておいたほうがいいと伝えました。